



むらた おさむ
■村田 治

関西学院大学学長、博士（経済学）。1980年関西学院大学経済学部卒業。1985年関西学院大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得退学。1989年関西学院大学経済学部助教授を経て、1996年教授。教務部長、経済学部長を務め、2014年より関西学院大学学長。現在、中央教育審議会委員、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会長。主著として『公債と財政赤字のマクロ理論』（有斐閣）、『現代日本の景気循環』（日本評論社）。

ひぐち ともゆき
■樋口 知之

情報・システム研究機構理事 統計数理研究所長・一般社団法人データサイエンティスト協会顧問。1989年東京大学理学系研究科博士課程修了（理学博士）、文部省統計数理研究所に入所。2011年より情報・システム研究機構理事統計数理研究所長。専門はベイジアンモデリング。日本学術会議の数理科学及び情報学分野の連携会員。主著として「予測に活かす統計モデリングの基本―ベイズ統計入門から応用まで」、講談社、2011。編著として「＜予測と発券の科学＞6 データ同化入門―次世代のシミュレーション技術―」、朝倉書店、2011。

のむら のりふみ
■野村 典文

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社技監（兼）広域・社会インフラ事業グループビジネス開発事業部事業部長。1983年東京理科大学理工学部卒業。2015年南山大学博士後期課程修了（学位：博士（数理情報学））。専攻は要求工学。大型システム開発のPM経験を経て、システムコンサルティングに従事。主にIT戦略、システム企画・計画、要求分析などの超上流を担当し現在に至る。近年は、デザイン思考を活用したサービス（ビジネス）デザイン、オープンイノベーション推進、ベンチャー企業マネジメント支援等に従事。専門分野はIT戦略、デザイン思考を活用したサービスデザイン、データサイエンス分野（統計、AI）の戦略立案。主な資格として博士（数理情報学）、技術士（情報工学）。

さいとう まさひろ
■齋藤 政彦

神戸大学副学長（全学教育、数理・データサイエンス担当）、数理・データサイエンスセンター長。1980年京大大学院理学部卒業、1985年京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了。専攻は数学。1991年4月京都大学理学部助教授、1996年4月神戸大学理学部教授、2007年4月神戸大学大学院理学研究科教授、2017年4月神戸大学副学長、2017年12月神戸大学数理・データサイエンスセンター長。主著として(1)（齋藤政彦）「パンルヴェ型微分方程式と代数幾何」、『数学』第62巻 第4号、524–544、2010年10月秋季号。(2) New developments in algebraic geometry, integrable systems and mirror symmetry (RIMS, Kyoto, 2008). ASPM, 59, MSJ, 2010.

きじま まさあき
■木島 正明

広島大学情報科学部教授。1980年東京工業大学理学部卒、1986年米国ロチェスター大学ビジネススクール博士課程修了、PhD。専門は応用確率。Bachelier Finance Society等の理事、SIAM Journal on Financial Mathematics等のAssociate Editor。

ひらしま つかさ
■平嶋 宗

広島大学大学院工学研究科教授、2018年4月より情報科学部副学部長。1986年大阪大学工学部卒、1991年同大学大学院博士課程修了、工学博士。学習工学に関する研究に従事。APSCE、人工知能学会等理事。日本e-Learning大賞シミュレーション特別部門賞（2016）、人工知能学会現場イノベーション賞金賞（2018）等受賞。

ふるたに ともゆき
■古谷 知之

慶應義塾大学総合政策学部教授。ウィーン大学客員研究員、チュラロンコン大学客員教授を兼任。1996年慶應義塾大学総合政策学部卒業、1998年東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了、2001年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士（工学）。東京大学大学院工学系研究科助手、慶應義塾大学環境情報学部専任講師、同総合政策学部准教授を経て現職。専門は応用統計学、ベイズ統計、空間統計学。主著として、『空間データの統計分析』（朝倉書店、2011年）、「データ科学をビジネスに結びつける」（坂内 正夫監修『ビッグデータを開拓せよ 解析が生む新しい価値」、角川インターネット講座、第7巻第2章、2015）、「医療費適正化の重点対策地域と有効な方法をみつめる」（印南一路編著『再考・医療費適正化』第7章、有斐閣、2016）、など。

うえはら けいすけ
■植原 啓介

慶應義塾大学環境情報学部准教授。博士（政策・メディア）。1993年電気通信大学電気通信学部情報工学科卒業、1995年電気通信大学大学院電気通信学研究科情報工学専攻（博士前期課程）修了、2000年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科（後期博士課程）単位取得退学。慶應義塾大学より博士（政策・メディア）の学位を取得。2008年より現職。専門はインターネット、情報工学、ITS、地理位置情報など。

なかじま しんすけ
■中島 伸介

京都産業大学情報理工学部教授。京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻博士後期課程修了。博士（情報学）。専門分野はWebマイニング、推薦システム。1997年神戸大学大学院自然科学研究科博士前期課程修了。2004年京都大学大学院情報学研究科博士後期課程修了。博士（情報学）。2004年情報通信研究機構専攻研究員。2005年奈良先端科学技術大学院大学助手（2007年より助教）。2008年京都産業大学コンピュータ理工学部准教授（2015年より教授）。ACM、IEEE-CS、電子情報通信学会、情報処理学会、日本データベース学会各会員。

はますな ゆきひろ
■濱砂 幸裕

近畿大学理工学部情報学科講師。2010年3月筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻博士後期課程修了。専攻はクラスタリング、ソフトコンピューティング、データサイエンス。2009年4月日本学術振興会特別研究員DC2、2010年4月日本学術振興会特別研究員PD、2011年4月近畿大学理工学部情報学科助教、2014年4月近畿大学理工学部情報学科講師。主著として（1）Y. Hamasuna, N. Kinoshita, and Y. Endo, "Comparison of Cluster Validity Measures Based x-means", Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics (JACIII), Vol.20, No.5, pp.845–853, 2016. (2) Y. Hamasuna, Y. Endo, "On Semi-supervised Fuzzy c-Means Clustering for Data with Clusterwise Tolerance by Opposite Criteria", Soft Computing, Vol.17, No.1, pp.71–81, 2013.

やました よういち
■山下 洋一

立命館大学情報理工学部教授、2018年度から学部長。1982年大阪大学工学部卒業、1984年大阪大学大学院工学研究科電子工学専攻前期課程修了。1984年から大阪大学産業科学研究所文部技官、助手、講師。1997年から立命館大学理工学部助教授、教授、2004年から同大学情報理工学部教授。音声情報処理の研究に従事。主著として、鈴木和博、山本麻実、趙國、山下洋一：「アクセント結合規則を利用した統計的手法に基づく連続音声のアクセント型自動ラベリング」日本音響学会誌, 66, 10, pp.487–496 (2010)。

かみばやし のりゆき
■上林 憲行

武蔵野大学データサイエンス学部教授（就任予定者）。工学博士。1975年慶應義塾大学工学部電気工学科卒、1977年慶應義塾大学工学研究科修士課程修了、1980年慶應義塾大学工学研究科博士課程修了。1980年広島大学工学部助手、1982年富士ゼロックス株式会社総合研究所主任研究員、主管研究員（シニアリサーチフェロー）、所長を歴任。2000年山形大学工学部情報科学科教授、2003年東京工科大学メディア学部メディア学科教授、学長補佐、バイオ・情報メディア研究科長。2018年武蔵野大学データサイエンス学部（2019年4月開設）教授。主著として「サービスサイエンス入門」、オーム社。

* 本欄はお書きいただいた資料からできるだけ統一し、掲載しました。